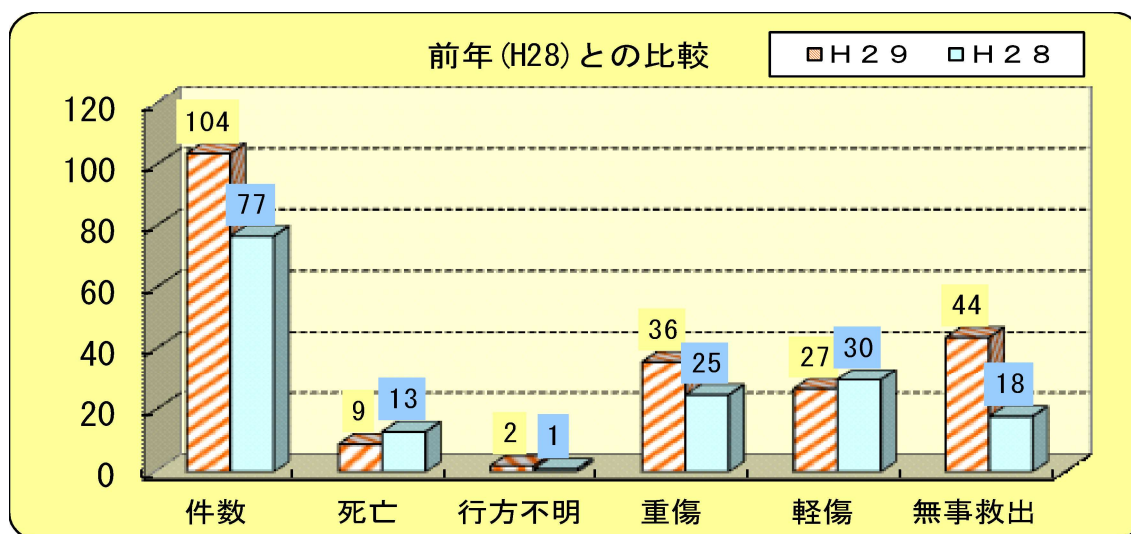


群馬県内の山岳遭難発生状況（平成29年中）

1 発生概況

	発生件数 (件)	遭難者数 (人)	死 亡	救 出		行方不明
				怪我あり	怪我なし	
平成29年	104	118	9	63	44	2
平成28年	77	87	13	55	18	1
前年比	+27	+31	-4	+8	+26	+1

注：件数・遭難者数は、警察認知に基づく数字を計上



2 山岳別発生状況

山岳別	管轄 警察署	発生 件数	件数 比率 (%)	遭 難 者 内 訳 (人)					計
				死亡	不明	重傷	軽傷	怪我なし	
尾 瀬	沼 田	33(15)	31.7	1		15	11	7	34
谷 川 連 峰	沼 田	17(18)	16.3	1		8	4	4	17
妙 義 山 系	富岡・安中	9(8)	8.7	4		1	1	4	10
赤 城 山 系	前橋・渋川	8(2)	7.7			2	1	6	9
武 尊 山	沼 田	6(2)	5.8	1		2	1	7	11
日 光 白 根 山	沼 田	6(4)	5.8		1	1	3	2	7
至 仏 山	沼 田	3(7)	2.9				2	1	3
榛 名 山 系	高 崎	1(3)	1.0					4	4
鹿 俣 山	沼 田	1	1.0			1			1
浅 間 山	長野原	1	1.0				1		1
根 本 山	桐 生	1	1.0	1					1
吾 妻 耶 山	沼 田	1	1.0					1	1
高 沢 山	吾 妻	1	1.0				1		1

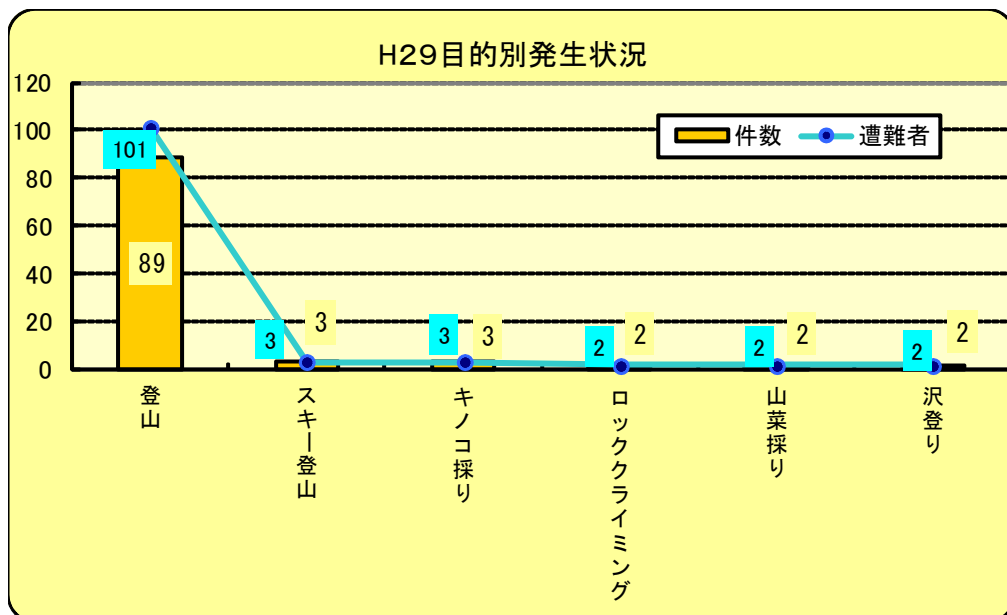
金 精 山	沼 田	1	1.0			1			1
草津白根山	長野原	1	1.0			1			1
毛 無 岩	富 岡	1	1.0					1	1
荒 船 山	富 岡	1(2)	1.0			1			1
四 阿 山	長野原	1	1.0			1			1
その他の山岳	—	11(16)	10.6	1	1	2	2	7	1 3
総 数	—	104(77)	—	9	2	3 6	2 7	4 4	1 1 8

※ ()内は、H28の発生件数

3 目的別発生状況

目的別	発生 件数	件数 比率(%)	遭 難 者 内 訳 (人)					
			死亡	不明	重傷	軽傷	怪我なし	計
登山	89(63)	85.6	8	1	3 0	2 6	3 6	1 0 1
スキー登山	3(3)	2.9	1		1		1	3
キノコ採り	3	2.9		1	1	1		3
ロッククライミング*	2(3)	1.9			2			2
山菜採り	2	1.9					2	2
沢登り	2(2)	1.9			2			2
溪流釣り	1	1.0					2	2
写真撮影	1(2)	1.0					1	1
その他	1(4)	1.0					2	2
総 計	104(77)	—	9	2	3 6	2 7	4 4	1 1 8

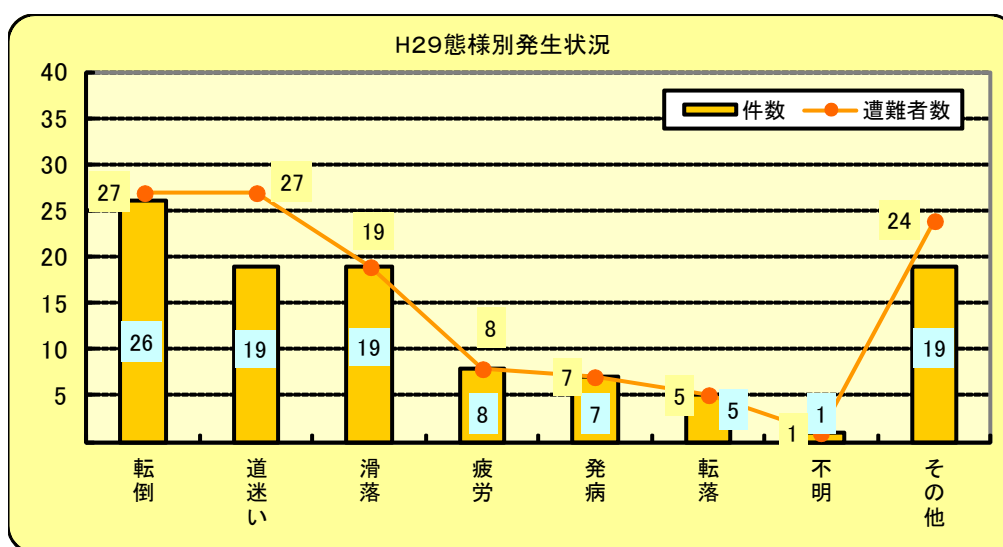
※ ()内は、H28の発生件数



4 態様別・原因別発生状況

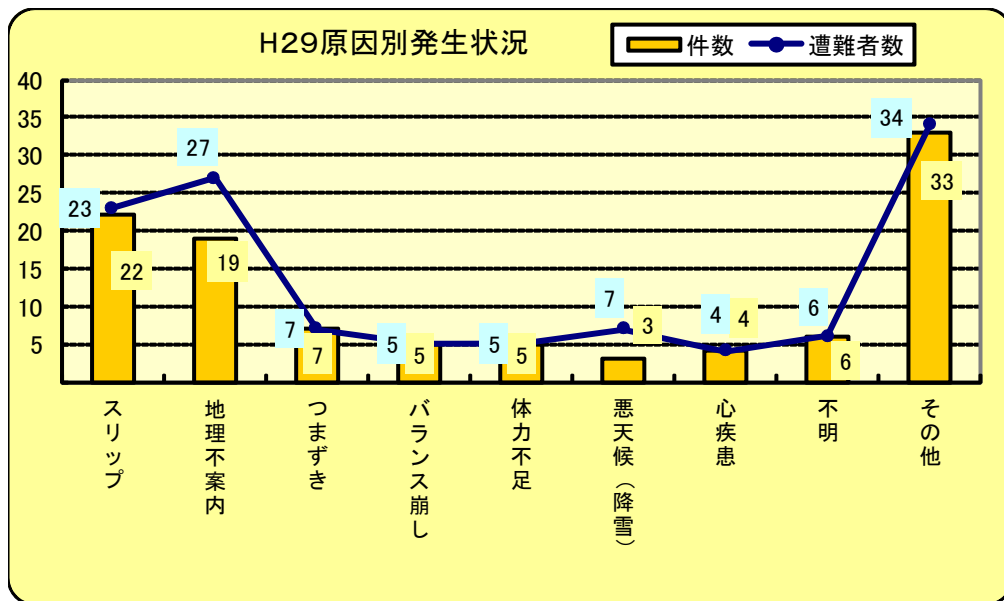
- 態様別発生状況

態様別	発生 件数	件数 比率(%)	遭難者内訳(人)					計
			死亡	不明	重傷	軽傷	怪我なし	
転倒	26	25.0			15	11	1	27
道迷い	19	18.3			1	1	25	27
滑落	19	18.3	6		10	3		19
疲労	8	7.7				2	6	8
発病	7	6.7	2		2	2	1	7
転落	5	4.8			3	2		5
悪天候	3	2.9		1		1	5	7
落石	1	1.0				1		1
雪崩	1	1.0	1					1
不明	1	1.0		1				1
その他	14	13.5			5	4	6	15
総計	104	—	9	2	36	27	44	118



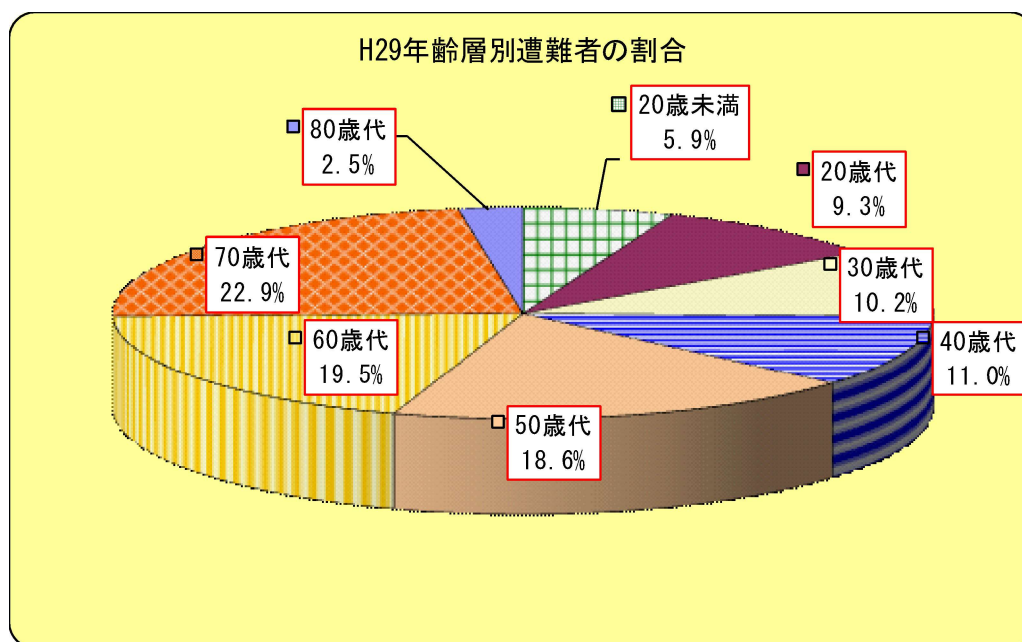
原因別発生状況

	発生 件数	件数 比率(%)	遭難者内訳(人)					計
			死亡	不明	重傷	軽傷	怪我なし	
スリップ	22	21.2	1		15	7		23
地理不案内	19	18.3			1	1	25	27
つまずき	7	6.7			5	2		7
バランス崩し	5	4.8			2	3		5
体力不足	5	4.8					5	5
悪天候(吹雪)	3	3.8		1		1	5	7
心疾患	4	2.9	3		1			4
雪庇踏み抜き	1	1.0			1			1
アイゼン引っ掛け	1	1.0			1			1
装備不備	1	1.0					1	1
不明	6	5.8	3	1		1	1	6
その他	30	28.8	2		10	12	7	31
総計	104	—	9	2	36	27	44	118



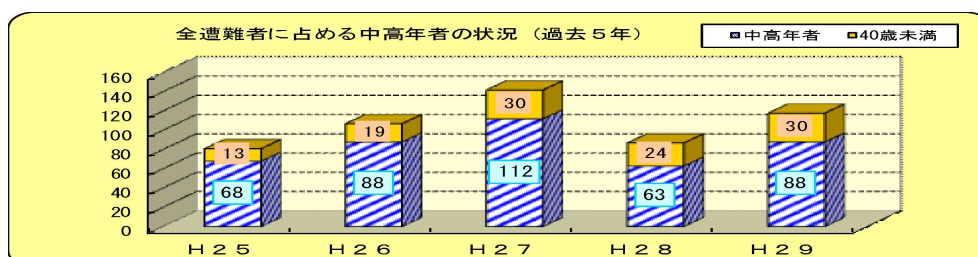
5 年齢別発生状況

年齢別		遭 難 者 内 訳 (人)							計
		死亡	不明	重傷	軽傷	怪我なし	計	比 率	
年 齢 層	20歳未満				3	4	7	5.9	30人 (25.4%)
	20歳代		1	1		9	11	9.3	
	30歳代	1		3	2	6	12	10.2	
別 発 生 年 齢 層	中	40歳代			5	3	5	13	88人 (74.6%)
	高	50歳代	3		10	3	6	22	
	年	60歳代	3	1	11	4	4	23	
	状	70歳代	2		6	11	8	27	
	況	80歳以上				1	2	3	
総 数		9	2	36	27	44	118	—	—



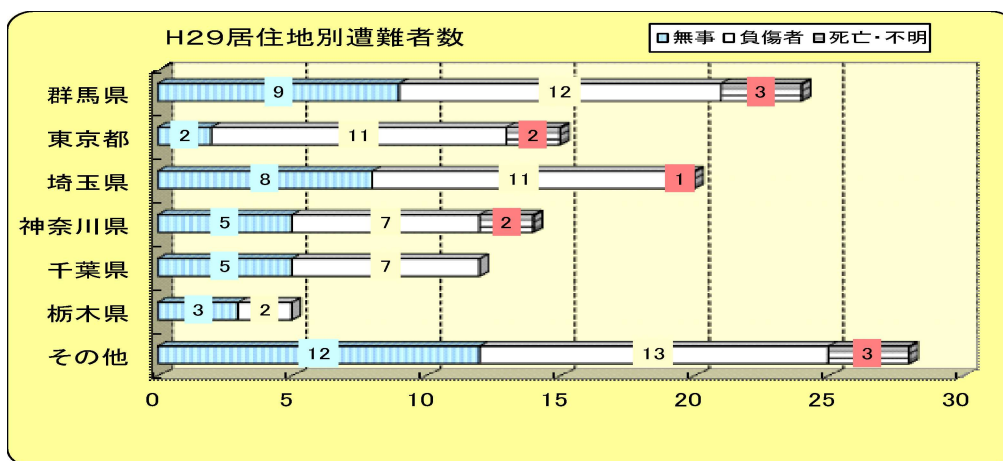
6 過去における中高年齢層の遭難発生状況

年 別	H25	H26	H27	H28	H29
遭難者総数(人)	81	107	142	87	118
中高年齢層(人)	68	88	112	63	88
比 率 (%)	84.0%	82.2%	78.9%	72.4%	74.6%



7 居住地別発生状況

居住地別		遭難者数	遭難者比率(%)	遭難者内訳(人)				
				死亡	不明	重傷	軽傷	怪我なし
県内居住者		24	20.3	2	1	6	6	9
県外居住者		94	79.7	7	1	30	21	35
県外居住者の内訳	埼玉県	20	16.9	1		4	7	8
	東京都	15	12.7	2		8	3	2
	神奈川県	13	11.0	1	1	4	3	5
	千葉県	13	11.0			6	1	5
	茨城県	10	8.5	2		2		6
	長野県	5	4.2			2	1	2
	栃木県	5	4.2				2	3
	新潟県	4	3.4	1			2	1
	愛知県	3	2.5			3		
	富山県	2	1.7				1	1
	岐阜県	1	0.8					1
	福岡県	1	0.8				1	
	鳥取県	1	0.8					1
	スイス	1	0.8			1		



遭難者の居住地別状況（過去5年）

居住地別		年別				
		H25	H26	H27	H28	H29
群馬県		24	26	26	24	24
県	東京都	17	22	27	13	15
	埼玉県	14	20	31	17	20
	茨城県	4	3	1	4	10
	千葉県	9	14	10	10	13
	神奈川県	5	10	17	11	13
	長野県	1				5

外 居 住 者 (人)	栃木県	3	3	6	2	5
	新潟県	2		2	2	4
	静岡県		1	3		
	大阪府			2	1	
	福岡県	1				1
	愛知県		1	2		3
	福島県		1	3		
	岐阜県		1			1
	大分県		1			
	兵庫県		1	1		
	奈良県			1		
	愛媛県		1	2		
	宮城県			1	1	
	富山県		1		1	2
	和歌山県	1				
	岡山県			1		
	京都府			5		
	石川県			1		
	山梨県				1	
	鳥取県					1
	イギリス国籍		1			
	スイス国籍					1
	県外者総数	57	81	116	63	94

8 パーティー構成及び登山計画書提出状況

・ パーティー構成状況

	発生 件数	件数 比率(%)	遭難者内訳(人)					計
			死亡	不明	重傷	軽傷	怪我なし	
単独	28	26.9	4	1	6	5	16	32
2人	34	32.7			15	9	12	36
3人	13	12.5	2	1	5	4	1	13
4人	9	8.7	2		3	2	5	12
5人	3	2.9			1	1	5	7
6人以上	17	16.3	1		6	6	5	18
総数	104	—	9	2	36	27	44	118

- 登山計画書提出状況

	発生 件数	件数 比率 (%)	遭 難 者 内 訳 (人)					計
			死亡	不明	重傷	軽傷	怪我なし	
提 出	27	26.0	2	1	10	8	11	32
未提出	77	74.0	7	1	26	19	33	86
総 数	104	—	9	2	36	27	44	118

- 山岳会等加入状況

	遭難 者数	人数 比率 (%)	遭 難 者 内 訳 (人)					計
			死亡	不明	重傷	軽傷	怪我なし	
加入登山者	11	9.3	1		6	1	2	10
未加入登山者	107	90.7	8	2	30	26	42	108
総 数	118	—	9	2	36	27	44	118

- 登山経験年数別

登山経験 年数別	遭難者内訳 (人)						比率 (%)
	死者	不明	重傷	軽傷	怪我なし	計	
な し	0	0	9	6	14	29	24.6
1～10年	4	0	15	14	16	49	41.5
11～20年	2	0	3	3	1	9	7.6
21～30年	0	0	3	2	2	7	5.9
31～40年	1	0	2	1	1	5	4.2
41～50年	0	0	2	1	3	6	5.1
51年以上	0	0	0	0	1	1	0.8
不 明	2	2	2	0	6	12	10.2
総 数	9	2	36	27	44	118	—

◎ 登山における注意点

最近における山岳遭難の特徴は、中高年登山者による遭難の増加です。

特に体力の消耗による下山中の滑落・転倒事故や無理な計画による疲労が原因の事故、事前の調査不足による道迷い、健康チェックを怠った発病等が増加するとともに、無計画で安易な登山の末の道迷いにより日没を迎え、ヘッドライト等の採光具を持たないがために行動不能となり、救助要請が行われる事故が発生しています。

また、標高の高いところでは気温が急激に低くなり、冬山と同様な条件下になることも予想されますので、次の点に十分注意し、安全な登山を心掛けてください。

- 事前に登山コース、危険箇所等を確認し、十分な装備を準備し、経験や体力に見合った登山を行いましょう。
- 天候が急変した場合や、日没までに下山できない時は、無理することなく引き返しましょう。
- 家族等には、登山コースや帰宅時間、非常時の連絡方法等を告げるとともに、携帯電話や携帯無線機等の連絡手段を確保しておきましょう。
- 単独登山はできるだけ避けましょう。
- 万が一に備え、登山届(パソコン・携帯電話からの電子申請を含めた登山計画書)を提出しましょう。



※ 携帯電話からQRコードにアクセスすると、登山計画書の届出ができます。